

## 日本美しい森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林につまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

### 利用する皆様への国有林からのお願い

- 動植物の保護にご協力ください。ペットの連込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定地外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないかなど、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝えるとともに、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。また、冬山の登山、山スキーなどでは雪崩に警戒してください。
- 悪天候のときは入林をお控えください。
- 食品残渣を介したCSFウイルス伝播防止のため、ゴミは必ずお持ち帰りください。併せてゴミ箱の撤去等の対策を進めておりますので御理解のほどお願いします。
- 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理局又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

## 登別温泉風景林 アクセス MAP



北海道  
のぼり べつ おん せん  
**登別温泉**  
風景林

地球の鼓動を五感で満喫!!

### アクセス方法

公共交通機関の場合	札幌駅	JR: 特急スーパー北斗、特急ずらん 約1時間15分 中央バス: 高速むららん号 道南バス: 高速白鳥号 約2時間	登別駅前	道南バス 約20分	第一海本前バス停	徒歩 1分	登別地獄谷	
	新千歳空港	JR 快速エアポート 5分	南千歳駅	JR: 特急スーパー北斗、特急ずらん 45分	登別駅前	道南バス 約20分	第一海本前バス停	徒歩 1分
車の場合	札幌駅	道央自動車道 約1時間40分	登別東IC	道南バス 約20分	第一海本前バス停	徒歩 1分	登別地獄谷	
	新千歳空港	道央自動車道 約50分	登別東IC	道南バス 約20分	第一海本前バス停	徒歩 1分	登別地獄谷	

## 登別温泉風景林

所在地: 北海道登別市登別温泉

お問い合わせ先:

後志森林管理署

電話番号: 0136-22-0145

### 林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyou/reku/rekumori/rekumori.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyou/reku/rekumori/rekumori.html)



レクリエーションの森  
林野庁

# 谷も沼も噴気孔もヒグマも、見どころたくさん&温泉三昧

## のぼりべつ 登別温泉風景林案内図



## 地理的・地形的特徴

海岸部にある登別市中心市街地から北側の山間部の日和山(ひよりやま)、地獄谷、大湯沼(おおゆぬま)等を擁する渓谷です。登別温泉街を囲むように所在しており、全域が「支笏洞爺(しこつとうや)国立公園」に指定されています。



登別温泉地獄谷

## 歴史的・文化的特徴

「登別」は、アイヌ語の「ヌブル・ベツ」(白く濁った川・色の濃い川)という言葉に由来すると言われています。

登別温泉は古来アイヌの人々が薬湯として重宝していたと言われており、弘化2年(1845年)には北海道(当初は北加伊道)の名付け親でもある松浦武四郎が訪れ、その魅力を綴っています。明治時代には日露戦争の傷病兵の保養地に指定され、鉄道開業や北海道帝国大学医学部附属登別分院設置等、豊富な湯量と多くの泉質を特色に様々な施設が作られました。また、天皇陛下が行幸した地としても知られています。当レクリエーションの森は、温泉街を取り囲むように位置しているため、温泉を訪れる人々に親しまれ、憩いの場ともなっています。



地獄谷中心部にある鉄泉池(てっせんいけ)

## 気候等と植生・野生生物

北海道としては降雪が少なく気候も穏やかです。

大正13年(1924年)に天然記念物に指定された「登別原始林」が存在し、ミズナラ等の約60種の樹木やミヤマキヌタンウ等の約110種の草本類が自生しています。

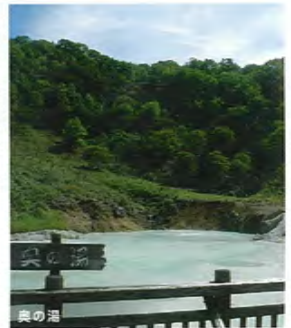


大湯沼

## 楽しみ方

「登別温泉」は、源泉温度が45~90℃で、約1万t/日の自然湧出量と豊富な泉質を誇ります。特に、9種類もの源泉が湧き出していることは世界的にも珍しく、「温泉のデパート」とも言われています。最近では国内だけでなく外国人観光客にも人気があり、訪れる人が年々増加しています。

中でも爆裂火口の跡である「地獄谷」は、直径が約450mの登別温泉最大の源泉エリアとなっています。周辺にある活火山「日和山」から立ち昇る白煙や、その噴火によって生じた「大湯沼」からもくもく上がる湯気はまさに地獄を見るようで、背景の原生的な風景林がその奇怪な光景を際立たせています。このほか登別温泉ロープウェイを利用して約15分で行くことができる「のぼりべつクマ牧場」では、迫力あるヒグマへのエサやり体験をすることができます。



熊の沼

## 施設情報

- ・標高 約200~550m
- ・面積 462.34ha
- ・入園料 レク森無料  
登別パークサービスセンター:無料  
のぼりべつクマ牧場:大人2,600円 小人1,300円  
3歳以下無料 ※ロープウェイ乗車料金はクマ牧場の入場料に含まれる
- ・開園期間 通年24時間利用可能
- ・有人施設 登別パークサービスセンター  
夏期(5月~10月) 8:00~18:00  
冬期(11月~4月) 8:00~17:00
- ・宿泊 【レク森内】なし  
【レク森外】近隣に温泉宿多数有り
- ・駐車場
  - ・登別地獄谷第1駐車場  
大型14台 普通車60台 有料  
(大型バス1日1回2,000円普通車1日1回500円)
  - ・登別地獄谷第2駐車場  
普通車70台 有料  
(大型バス1日1回2,000円 普通車1日1回500円)
  - ・大湯沼駐車場  
大型1台 普通車39台 有料  
(マイクロバス1日1回1,000円 普通車1日1回500円)【冬期間閉鎖】